化学変化と質量の比 酸化物から求める（10問）　版B

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 12.5 g にふくまれる
酸素は何 g か。

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 12 g をつくるには、
銅は何 g 必要か。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
酸化マグネシウム 15.5 g をつくるには、
マグネシウムは何 g 必要か。

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
酸化マグネシウム 15.5 g にふくまれる
酸素は何 g か。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 9 g にふくまれる
酸素は何 g か。

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 17.5 g にふくまれる
酸素は何 g か。

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 5.5 g にふくまれる
酸素は何 g か。

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 13 g をつくるには、
銅は何 g 必要か。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
酸化マグネシウム 10.5 g をつくるには、
マグネシウムは何 g 必要か。

(10) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 10 g をつくるには、
銅は何 g 必要か。

化学変化と質量の比 酸化物から求める（10問）　版Bの答え

※ 酸化物を「5」とみて、金属は 4/5（マグネシウムは 3/5）、酸素は 1/5（マグネシウムは 2/5）です。

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 12.5 g にふくまれる
酸素は何 g か。
= 2.5 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 12 g をつくるには、
銅は何 g 必要か。
= 9.6 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
酸化マグネシウム 15.5 g をつくるには、
マグネシウムは何 g 必要か。
= 9.3 g

(4) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
酸化マグネシウム 15.5 g にふくまれる
酸素は何 g か。
= 6.2 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 9 g にふくまれる
酸素は何 g か。
= 1.8 g

(6) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 17.5 g にふくまれる
酸素は何 g か。
= 3.5 g

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 5.5 g にふくまれる
酸素は何 g か。
= 1.1 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 13 g をつくるには、
銅は何 g 必要か。
= 10.4 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
酸化マグネシウム 10.5 g をつくるには、
マグネシウムは何 g 必要か。
= 6.3 g

(10) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
酸化銅 10 g をつくるには、
銅は何 g 必要か。
= 8 g

free-print.net ｜ 化学変化と質量の比の計算問題プリント 酸化物から求める 版B ｜ 学校・塾での配布OK